

慶應義塾大学病院漢方医学センター活動報告

センター長	渡 辺 賢 治
特別研究教授	阿 相 皓 晃
客員教授	秋 葉 哲 生
講 師	西 村 甲
助 教	今 津 嘉 宏
	松 浦 恵 子
	坪 井 貴 嗣
非常勤講師	福 澤 素 子
	渡 邊 賀 子
	荒 浪 暁 彦
	前 嶋 啓 孝
	山 本 雅 浩
	石 毛 敦
特別研究員	宗 形 佳 織
	佐 藤 菜 名 子
研究助手	秋 吉 裕 子
	齊 藤 絵 美
大学院3年	高 鵬 飛
大学院1年	徳 永 秀 明
	詹 睿
修士課程2年	皆 川 紗 代
	佐 藤 友 里 恵
修士課程1年	味 澤 佑 美
医学部学生	大 西 卓 也 (5年)
	吉 野 雄 太 (5年)
	川 崎 健 太 (5年)
	関 口 卓 也 (5年)
共同研究員	栗 原 直 人
	金 子 篤
	三 浦 尚 子

慶應義塾大学漢方医学センターとして2年目となった2009年は、大学および病院組織の改組が行われ、漢方医学センターは血液浄化・透析センター、輸血・細胞療法センター、腫瘍センター、感染制御センター、スポーツ医学総合センター、内視鏡センターとともに、大学および病院にまたがる医療クラスター部門として新たにスタートした。これに伴い、漢方医学センター専任職員でなくてもいろいろな診療科の医師に外来を担当していただけることが可能となった。

また、21世紀漢方フォーラムをNPO健康医療開発機構、日中産学官交流機構、医療志民の会などとの共催で行っている。第3回21世紀漢方フォーラム「漢方の国際医療情報を考える」は、2009年7月31日に当大学東校舎講堂で開催した。瀧村佳

代（厚生労働省大臣官房統計情報部ICD室長）「WHO ICD改訂作業」、渡辺賢治「WHO ICD11改訂作業の中での伝統医学」、小倉悟（経済産業省産業技術環境局環境生活標準化推進室課長補佐）「ISOの仕組みと国際戦略」、井本昌克（厚生労働省医政局研究開発課 課長補佐）「漢方医学の最近の国際動向について」のプレゼンテーションの後、寺澤捷年日本東洋医学サミット会議議長の特別発言があり、パネルディスカッションを行った。

第4回「患者中心医療へのパラダイムシフト」は、厚生労働科学研究費に付属する臨床研究・予防・治療技術開発研究推進事業、研究成果等普及啓発事業「主観的個別化患者情報のデータマイニングによる漢方・鍼灸の新規エビデンスの創出」の研究成果発表会も兼ねて平成21年11月20日に当大学東校舎講堂にて行った。渡辺賢治「データマイニングによる漢方・鍼灸の新規エビデンスの創出における自動問診システムの意義」、多田浩貴（日興通信株式会社・企画部）「慶應義塾大学病院漢方クリニックにおける自動問診システムの概要」、西村甲「自動問診システムによる情報処理解析の紹介」、塚田信吾（日本伝統医療科学大学院大学・統合医療研究科）「鍼灸における自動問診・診療システム」に引き続き、招待講演として、増永明（経済産業省・商務情報政策局サービス産業課 医療・福祉機器産業室長）「健康情報を活用するための基盤構築」で行った。

第5回「漢方・鍼灸を活用した日本型医療の創生」は2009年12月10日に北里講堂で行った。司会進行黒岩祐治（ジャーナリスト・国際医療福祉大学大学院教授）で、鈴木寛（民主党・漢方小委員会委員長、文部科学副大臣）、土屋了介（国立がんセンター病院長）、三瀧忠道（日本東洋医学会常務理事）、塚田信吾（伝統医療大学院大学教授）、竹本治（患者の立場で）、渡辺賢治、をパネリストに漢方の将来展望について行った。

その他活動概況については当センターホームページ (<http://web.sc.itc.keio.ac.jp/kampo/>) をご参照いただきたい。

診療は、漢方クリニックにおける臨床として、月間患者数は1000名～1200名で推移しているが、実態は患者数の増加に伴い、漢方薬の長期投与で患者数を制限する形となっている。

特殊外来の「漢方アトピー外来」では、皮膚科・看護部・食養科とともに「アトピー生活指導外来」を共同で運営し、月1回の症例検討会を行って

る。平成21年2月から4回シリーズの集団指導も開始予定で、漢方は4回目の担当となる。

教育においては、第3学年の選択必修10コマ「漢方はなぜ必要か?」、薬理学での必修2コマ、第4学年には必修科目「総合診断学・東洋医学」8コマで漢方の特徴を講義し、試験を施行している。第5、6学年のクリニカルクラークシップでは選択科目として漢方医学がある。

しかし卒前教育と同時に卒業後教育にも力を入れる必要があり、専修医プログラムを充実させ、他診療科専修医を終えてから漢方の専修医を選択できるシステムを構築した。

2009年度は専修医1名、2010年度は初期研修医からの専修医2名に加え、新システムで産婦人科から一人専修医を受け入れる予定である。

渡辺は医学教育統轄センター委員、カリキュラム委員、学務委員、FD委員長として、漢方のみならず全体の医学部教育に関与している。

研究では大学院生2名、修士課程学生3名を中心に積極的に学会発表等を行っている。6月の日本東洋医学会、7月の医学教育学会、8月の和漢医薬学会等にて研究成果を報告した。

国際的活動として渡辺はWHO西太平洋事務局における東アジア伝統医学疾病分類の取りまとめとして活動し、3月にはジュネーブでの会議に出席し、5月には香港の会議に出席した。10月のWHO-FIC年次総会では、伝統医学をICD-11に入れていく方向性についての報告があった。

1ヶ月前後の短期で4名の医学生（米国、韓国）を受け入れた。

◇著書

- 1) 渡辺賢治（分担執筆）：良好かつ継続的医師－患者関係構築のコツ 熟練医から日常診療のさまざまなコツを伝授，日本プライマリケア学会編集，南山堂，東京，42-43，2009
- 2) 渡辺賢治（分担執筆）：専門医のための漢方医学テキスト（漢方専門医研修カリキュラム準拠），日本東洋医学会編，南江堂，2009
- 3) 渡辺賢治（分担執筆）：今日の治療薬 解説と便覧，南江堂，東京，2009
- 4) 福澤素子ほか（共著）：専門医研修コアカリキュラムと「問題と解説」増補改訂版，日本東洋医学会編，社団法人日本東洋医学会，2009.3

◇原著

英文

- 1) Watanabe Y, Yamamoto M, Miura N, Fukutake M, Ishige A, Yamaguchi R, Nagasaki M, Saito A, Imoto S, Miyano S, Takeda J and Watanabe

K : Orenge dokuto and berberine improve indomethacin-induced small intestinal injury via adenosine, *J. Gastroenterol.* 44 (5): 380-9, Mar 25. [Epub]

- 2) Ohasawa S, Hamada S, Asou H, Kuida K, Uchiyama Y, Yoshida H, Miura M : Caspase-9 activation revealed by semaphorin 7A cleavage is independent of apoptosis in the aged olfactory bulb, *J. Neurosci.*,29(36): 11385-11392, 2009 Sep 9
- 3) Nakata H, Watanabe K, Murakami Y, Gao P, Tsuji K, Nishimura K, Plotnikoff GA, Kurihara N, Irie Y, Ishige A. : Stress on a postpartum mother inhibits the secretion of growth hormone in the offspring and causes persistent growth impairment, *Methods Find Exp Clin Pharmacol*, 31(7) : 433-41, 2009
- 4) Zhang Q, Iwami D, Aramaki O, Yakubo S, Nishimura K, Ishige A, Watanabe K, Matsuno K, Shirasugi N, Niimi M : Prolonged survival of fully mismatched cardiac allografts and generation of regulatory cells by Sairei-to, a Japanese herbal medicine, *Transplantation* 27:87(12) : 1787-91, 2009
- 5) Toda T, Saito N, Fujimoto A, Ikarashi N, Ito K, Yamamoto M, Ishige A, Watanabe K, Sugiyama K : Intestinal flora induces the expression of Cy3pa in the liver. *Xenobiotica* 39(4) : 323-34, 2009 Apr
- 6) Nishimura K, Osawa T, Watanabe K : Evaluation of Oxygen Radical Absorbance Capacity in Kampo Medicine. *Evid Based Complement Alternat Med*,2009 Jan 6. [Epub]
- 7) Watanabe-Fukuda Y, Yamamoto M, Miura N, Fukutake M, Ishige A, Yamaguchi R, Nagasaki M, Saito A, Imoto S, Miyano S, Takeda J, Watanabe K : Orenge dokuto and berberine improve indomethacin-induced small intestinal injury via adenosine, *J Gastroenterol*, 44:380-389, 2009

和文

- 1) 五十嵐信智，伊藤清美，木村孝良，秋葉哲生，入江祥史，渡辺賀子，福澤素子，石井弘一，渡辺賢治，杉山 清：漢方専門外来受診患者における漢方薬服用に関する実態調査，*日本東洋医学会雑誌*，60(4) 435-442，2009

総説

- 1) Nishimura K, Watanabe K, Toyoma H : Complete

- Recovery from Tension-Type Headache Through Kampo Medicine., J Altern Complement Med, 2009 Jun 24. [Epub ahead of print]
- 2) 秋葉哲生, ほか:高齢者医療に於ける漢方の効果とその検証, 日本東洋医学会誌, 60(3):237-265, 2009
 - 3) 秋葉哲生:東洋医学と西洋医学の統合治療, 治療, 91(6):1-3, 2009.6
 - 4) 秋葉哲生:漢方薬の服薬指導に役立つ漢方知識-漢方の考え方・使い方, 千葉県病薬会報, 166:23-29, 2009.9
 - 5) 秋葉哲生, 渡辺賢治:秋田魁新報記事に見る1918年から1919年にかけてのスペイン風邪流行状況, 漢方の臨床, 56(2):331-342, 2009
 - 6) 今津嘉宏:がん治療時の副作用, 診断と治療, 97(8):1626-1632, 2009
 - 7) 今津嘉宏:漢方診療のイロハ これから漢方導入を考えている一般医のための基本と実践 大建中湯, 治療, 91(6):1800-1901, 2009
 - 8) 渡辺賢治:総合医に必要な漢方の基礎知識 漢方エキス製剤の服薬方法・副作用, 診断と治療, 97(8):1526-1532, 2009
 - 9) 渡辺賢治:"医療面接/診察/患者とのコミュニケーション"のコツ 良好かつ継続的医師-患者関係構築のコツ, 治療, 91(臨増):42-43, 2009
 - 10) 渡辺賢治:グローバル化時代の漢方 伝統医学国際化の潮流, 医学のあゆみ231, 医歯薬出版, (2):169-170, 2009
 - 11) 渡辺賢治:グローバル化時代の漢方 ICD-11への改訂に向けての東アジア伝統医学分類作成, 医学のあゆみ, 医歯薬出版, 231(3):243-245, 2009
 - 12) 渡辺賢治:グローバル化時代の漢方 漢方医学をめぐる国際的諸問題, 医学のあゆみ, 医歯薬出版, 231(4):311-312, 2009
 - 13) 渡辺賢治:慶應義塾大学における漢方医学教育, 漢方と最新治療, 世論時報社, 18:4(71):235-240, 2009
 - 14) 渡辺賢治:集中治療患者の食欲不振に対する漢方治療の有用性, 日本集中治療医学会雑誌, 16:148-150, 2009
 - 15) 渡辺賢治:漢方薬の薬効に影響を与える腸内環境, 薬局, 南山堂, 60:12:3550-3554, 2009
 - 16) 渡辺賢治:漢方エキス製剤の服薬方法・副作用, 診断と治療, 診断と治療社, 97(8):32-37, 2009
 - 17) 渡辺賢治:陰陽・虚実・表裏・寒熱による病態の認識, 治療, 南山堂, 91(6):1649-1653, 2009
 - 18) 渡辺賢治:西洋医学から見て分かりやすい漢方医学を目指して, 医療タイムス, (株)医療タイムス社, 1925:34, 2009
 - 19) 崎山武志、石野尚吾、渡辺賢治、Plotnikoff G.A., 許鳳浩、Froehlich C., Pflueger K., 柳澤紘:なぜ、今、日本漢方か 世界各国の医師が日本漢方を選ぶ理由と自国の事情あるいは普及, 日本東洋医学雑誌, 60(1):99-118, 2009
 - 20) 渡辺賢治:漢方の見方「瘀血」, 読売健康ブックら・さんて, 5:1, 2009
 - 21) 渡辺賢治:漢方の見方「血虚」, 読売健康ブックら・さんて, 4:1, 2009
 - 22) 渡辺賢治:日本版総合医は漢方を活用すべきである, MRIC vol.148 http://mric.tanaka.md/2008/10/22/_vol_148.html#more (2009 1月アクセス)
 - 23) 渡辺賢治:今後の医療への漢方の貢献と診療情報の国際的協調, 科学技術振興機構中国総合研究センター第12回研究会講演録
 - 24) 宗形佳織、渡辺賢治:臨床現場で期待される薬剤師 薬剤師に必要な漢方の知識, からだの科学, 増刊これからの薬剤師:54-58, 2009
 - 25) 福澤素子:肥満治療における漢方の使い方, 産婦人科漢方研究のあゆみ, 26:13-17, 2009
 - 26) 福澤素子:総合医に必要な漢方の知識, 症状・症候に対する漢方治療 月経困難症・月経前症候群, 診断と治療, 97:1616-1619, 2009
 - 27) 荒浪暁彦:皮膚疾患の漢方治療, 皮膚病診療, 30:11, 2009
- ◇学会発表
- 1) 宗形佳織, 渡辺賢治:漢方薬十全大補湯が大腸のIFN alpha産生に及ぼす影響, 第40回日本消化吸収学会総会, 京都, 2009/10/14-17
 - 2) 皆川紗代, 宗形佳織, 渡辺賢治:大腸におけるIFN alphaの産生調節機構の解明, 第40回日本消化吸収学会総会, 京都, 2009/10/14-17
 - 3) 今津嘉宏:シンポジウム「がん疾患における漢方の役割」, がん手術と漢方, 第66回日本東洋医学会関東甲信越支部会, 栃木, 2009/9/27
 - 3) 高鵬飛, 渡辺賢治, 西村甲, 中田英之, 村上優: Maternal stress resulted in pup growth retardation as pituitary malfunction decreased pit1 mRNA and pitx2 mRNA expression, 第36回日本神経内分泌学会大会, 北九州, 2009/9/4-5
 - 4) 松浦恵子, 西村 甲, 徳永秀明, 今津嘉宏, 井元清哉, 山口 類, 長崎正朗, 斉藤あゆむ, 宮野 悟, 渡辺賢治:患者自動問診システムを用いた冷え症初診患者における処方特徴の検討, 第26回和漢医薬学会学術大会, 千葉, 2009/8/29-30
 - 5) 徳永秀明, 西村 甲, 松浦恵子, 今津嘉宏, 井元

- 清哉, 山口 類, 長崎正朗, 齊藤あゆむ, 宮野悟, 渡辺賢治:患者自動問診システムを用いたアトピー性皮膚炎患者における処方特徴の検討, 第26回和漢医薬学会学術大会, 千葉, 2009/8/29-30
- 6) 皆川紗代, 宗形佳織, 山本雅浩, 渡辺賢治:十全大補湯による大腸インターフェロン α 産生促進の作用機序, 第26回和漢医薬学会学術大会, 千葉, 2009/8/29-30
 - 7) 今津嘉宏:メインテーマ企画「医学部卒後教育のニーズと課題」, 後期研修のための漢方連続講座, 第26回和漢医薬学会, 千葉, 2009/8/30
 - 8) 渡辺賢治, 美馬秀樹, 中島理加, 佐藤 徹, 天野隆弘:シラバスマップを用いた医学教育の可視化, 第41回日本医学教育学会総会大会, 大阪, 2009/7/24-25
 - 9) 渡辺賢治:卒然教育における漢方教育の位置づけ-慶應義塾大学における例-, 第41回日本医学教育学会大会, 大阪, 2009/7/24-25
 - 10) 神山圭介, 関口進一郎, 奥山訓子, 篠田昌宏, 岡野ジェイムス洋尚, 長谷川奉延, 河合俊英, 佐藤徹, 渡辺賢治, 天野隆弘:白衣式の意義に関する検証と課題, 第41回日本医学教育学会大会, 大阪, 2009/7/24-25
 - 11) 浅羽宏一, 今津嘉宏, 並木隆雄ほか:総合医・家庭医後期レジデントの漢方研修の試み, 漢方の連続講座による若手医師の漢方研修支援, 第41回日本医学教育学会大会, 大阪, 2009/7/24.
 - 12) 渡辺賢治, 徳永秀明, 宗形佳織, 松浦恵子, 西村 甲:漢方自動問診システム開発途上における腹診の諸侯に関連する因子の検討, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 13) 高 鵬飛, 西村 甲, 宗形佳織, 徳永秀明, 渡辺賢治:日中の伝統医学教育システムの比較, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 14) 徳永秀明, 松浦恵子, 西村 甲, 渡辺賢治:補中益気湯が著効した非小細胞肺癌による腫瘍熱の一例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 15) 渡辺陽子, 西村 甲, 渡辺賢治:膝頭十二指腸切除後の下腿浮腫, 低栄養に漢方治療が有効であった一例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 16) 中田英之, 西村 甲, 秋葉哲生, 渡辺賢治:半夏瀉心湯にて改善したPMSの一症例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 17) 沢井かおり, 西村 甲, 渡辺賢治:牛車腎気丸で軽快した外陰部痛の一例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 18) 西村 甲, 松浦恵子, 徳永秀明, 渡辺賢治:黄耆建中湯で軽快したチックの1男児例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 19) 伊藤亜希, 西村 甲, 渡辺賢治:調剤技術料でみる漢方生薬処方現状と問題, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 20) 白土裕之, 張 琦, 渡辺賢治, 石毛 敦, 新見正則:当帰芍薬散の同種異系マウス心移植モデルにおける移植片生着延長効果の検討, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 21) 宗形佳織, 徳永秀明, 松浦恵子, 西村 甲, 渡辺賢治:冷えをもつ初診患者に関連する症状、所見について~漢方自動問診システム開発における初期検討~, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 22) 松浦恵子, 徳永秀明, 西村 甲, 渡辺賢治:大桃花湯が潰瘍性大腸炎術後に繰り返す回腸囊炎に対し有効であった一例, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 23) 嶋田夏子, 渡辺賢治, 西村 甲:漢方薬治療が著効した乳児早期発症のアトピー性皮膚炎, 第60回日本東洋医学学会学術総会, 東京, 2009/6/19-21
 - 24) 山本雅浩:大建中湯の下部消化管における薬理作用機序(シンポジスト), 第5回日本消化管学会総会, 東京, 2009
 - 25) 福澤素子:認知証・肥満に対する漢方治療—当帰芍薬散・防己黄耆湯・防風通聖散を中心として, 札幌アンチエイジングクラブ2009, 札幌, 2009.3
 - 26) 今津嘉宏:漢方医の立場から, 第5回日本消化管学会ワークショップ, 東京, 2009/2/13
- ◇講演・講座
- 1) 秋葉哲生:「漢方と診療」誌, 座談会収録, 東洋学術出版社, 2009/12/1
 - 2) 秋葉哲生:船橋サンデーモーニングセミナー, 講師, 2009/11/29
 - 3) 今津嘉宏:バカにできない便秘と下痢, 第28年会日本社会薬学会市民フォーラム, 東京, 2009/11/27
 - 4) 渡辺賢治:漢方を活用した日本型医療 第13回日本統合医療学会, 東京, 2009/11/21-22
 - 5) Watanabe K: Role of Traditional Medicine for Cancer Patients. 5th Asia Cancer Forum

- organized with 20th APCC Tsukuba, Japan, 2009/11/12
- 6) 秋葉哲生:東邦大学大森病院, 講演講師, 2009/11/15
 - 7) 秋葉哲生:「城南漢方セミナー」講義, 2009/11/5
 - 8) 秋葉哲生:認知症国際フォーラム「東洋医学は認知症を救うか?」, NHK, 川崎市, 2009/10/31
 - 9) Watanabe K: Diagnostic systems in Chinese, Korean and Japanese TM 1st international congress on Traditional Medicine, Tokyo, Japan, 2009/10/25
 - 10) 秋葉哲生:医療用漢方製剤と保険診療, 財団法人日本薬剤師研修センター講義, 慶応大学薬学部, 2009/10/18
 - 11) 秋葉哲生:シンポ「インフルエンザ感染と漢方治療」座長, 第66回日本東洋医学会関東甲信越支部総会, 2009/9/27
 - 12) 渡辺賢治:漢方医学における老化, 9th 抗加齢医学の実際, 東京, 2009/9/20-21
 - 13) Watanabe K: Cultivation of Harmonization of Traditional Asian Medicine. Seventh International Congress on Traditional Asian Medicine, Thimphu, Bhutan, 2009/9/7-11
 - 14) 秋葉哲生:盛岡入門セミナー講師, 盛岡, 2009/9/5
 - 15) 秋葉哲生:特別講演講師「本朝経験方とその背景」, 日本東洋医学会神奈川県部会, 神奈川, 2009/7/19
 - 16) 渡辺賢治:服薬指導に必要な漢方基礎講座, 慶應義塾大学薬学部生涯学習センター主催公開講座, 東京, 2009/7/12
 - 17) 渡辺賢治:卒前教育における漢方教育の位置づけ-慶應義塾大学における例-, 第41回日本医学教育学会大会 ランチョンセミナー, 大阪, 2009/7/12
 - 18) 渡辺賢治:日本における養生論と食, 食の文化フォーラム 医食同源-食とこころ・からだ 味の素食の文化センター主催, 2009/6/13
 - 19) 渡辺賢治:脳内老化に対する漢方治療の可能性 漢方薬とアンチエイジング, 第9回日本抗加齢医学会総会, 東京, 2009/5/28
 - 20) 秋葉哲生:金沢大学から始まった日本の近代漢方-湯本求真とその学統, 金沢大学医学部講義, 金沢, 2009/4/28
 - 21) 荒浪暁彦:皮膚疾患の漢方治療, 市川市民文化会館, 市川, 2009/4/26
 - 22) 秋葉哲生:保険診療と審査業務, 社会保険診療報酬支払基金新入社員研修会講義, 千葉県白井研修所, 2009/4/06
 - 23) 秋葉哲生:コモンディジェーズと漢方治療, ツムラ花巻講演, 花巻, 2009/4/04
 - 24) 秋葉哲生:歯科医師漢方研究会講演, JR千葉駅ペリエホール, 千葉, 2009/3/26
 - 25) 秋葉哲生:方証相対について, 傷寒論を語る会講演, ツムラ, 2009/3/22
 - 26) 渡辺賢治:平成20年度日本東洋医学会東京都部会, 胃腸にやさしい漢方薬, 東京, 2009/3/20
 - 27) 秋葉哲生:EBMに基づく漢方治療, 神奈川保険医協会, ツムラ, 2009/3/19
 - 28) 秋葉哲生:在宅医療と漢方, ツムラ講演, 横浜, 2009/3/18
 - 29) 秋葉哲生:特別講演「不妊と漢方治療」, 第四回レーザーリプロダクション学会, 東京歯科大学血脇ホール, 2009/3/15
 - 30) 今津嘉宏:もし、がんになったら…, 港区民講演会, 東京, 2009/3/14
 - 31) 秋葉哲生:「介護保険下の施設入所高齢者の現状」, シニアビジネス異業種研究会講演, 2009/3/12
 - 32) 秋葉哲生:高齢者の漢方治療, 東毛漢方研究会, 2009/3/5
 - 33) 今津嘉宏:外科と漢方, 東海中学サタデープロジェクト, 愛知, 2009/2/21
 - 34) 今津嘉宏:病棟における漢方薬の使い方, 函館外科会学術講演会, 函館, 2009/1/16
- ◇講義
- 1) 今津嘉宏:医療のゆくえ「がん対策と緩和医療」, がん医療の現場から, いわき明星大学薬学部講義, 2009/11/17
 - 2) 今津嘉宏:北里大学薬学部講義, 東京, 2009/6/24
 - 3) 今津嘉宏:北里大学薬学部講義, 東京, 2009/6/3
- ◇その他
- 1) 荒浪暁彦:印象に残る症例シリーズ, ツムラメディアカルトゥーデイ, ラジオ日経, 12月19日放送